

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [藤岡市立小野小学校] 担当教諭名 [小西 啓吾] (6年1・2・3組 98名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Chiayi Municipal Gang Ping Elementary School] 担当教諭名 [Chang Hsin Yun]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	「伝えよう 群馬のたからもの」	35
	国語	「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」	12
	外国語活動	「自己紹介、地域紹介をしよう」	2
	図画工作	「伝えよう すてきなふるさと」	16
社会	「世界の未来と日本の役割」	1	

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	地域のたからもの
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<p>「地域のたからものを、世界の仲間と共に守り、未来に残そう」 「Let's work together with the world to protect our (respective) treasures and preserve it for the future.」</p> <p>地域のたからものは、すべてが世界共通のたからものである。そこに住む人々の歴史や文化が詰まっている。人と人がつながること、伝え合うことで、その素敵なたからものを未来に残していこう。</p>



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの地域を紹介し合い、比べることで、自分たちの暮らしている地域の特色やよさを再認識することができた。 ・台湾(嘉義市)の特色やよさ、日本とのつながりなどを知ることができ、台湾を身近に感じることができた。 ・スカイプ、フォーラム、手紙などでの交流を通して、英語やICT 機器をコミュニケーションツールとして活用することの必要性を実感することができた。 ・海外の同世代の子どもたちと協働する体験を通して、世界をより身近に感じることができ、興味を広げることができた。 ・双方向の協働学習において、子どもたちが意見を出し合い、話し合い、まとめ、伝えることを繰り返すことで、コミュニケーション力や協働する力を身に付けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色やよさを伝えるだけではなく、地域の抱える問題も共有できるとさらに深い学びにつながる。 ・台湾や嘉義市についての調べ学習を行う前に、関係機関や地域の方を講師として招き、相手の国や地域について事前学習ができるとさらに理解が深まる。 ・フォーラムの活用がうまくいかなかった。教師同士は、お互いの学習内容を把握できる良さはあるが、子どもたちには実感が伴っていないようであった。子どもたちへの提示の仕方を工夫する必要がある。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の準備段階では、海外の子どもたちと交流することに対して、実感が伴わない様子であった。しかし、9月に実施した1回目のスカイプによる自己紹介を終え、子どもたちの意識に変化が見られた。 ・1回目の交流を終え、相手の暮らしている地域について知りたいという思いが高まり、意欲的に調べ活動を行う様子が見られた。 ・お互いの暮らしている地域について、質疑・応答を繰り返すことで、歴史的なつながりや地理的な類似点、相違点、そこに暮らす人々の想いなどについて考えることができた。 ・交流を通して、「台湾に行ってみよう」「もっと会話がしたい」という思いをもつ子どもが多かった。 ・他の地域やそこで暮らす人々についても興味をもち、世界がより身近に感じられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾や嘉義県について、子どもたちと学習する中で、理解を深めることができた。 ・台湾は、豊かな自然や文化財などがあるにも関わらず、国連から国家として認められておらず、世界遺産がないという事実を知り、子どもたちとともにこの問題について考える機会となった。 ・台湾は、遠い存在の国のように思えたが、交流を通して、より身近に感じることができた。 ・交流を通して知ることのできた台湾について実際に行って確かめてみたいと感じた。 ・自分の考えを相手に伝える手段としての英語や中国語などの言語の重要性を実感した。 ・相手の学校の様子も分かり、学校生活や授業の内容についてもさらに興味をもつことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
事前学習	4月～8月	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5年生までの地域学習を生かし、今後の学習について見通しをもった。 ・群馬の特色やよさについて調べた。 ・群馬のよさを伝えるためのパンフレットを作成した。 ・英語で地域紹介ができるように、カードを作成した。(表面は写真やイラスト、裏面は3行ほどの日本語と英語の説明) ・嘉義の特色やよさについて調べ、ノートにまとめた。(夏休み中の宿題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬の魅力伝えるための方法について意欲的に考えていた。 ・海外の子どもたちに群馬の特色やよさを伝えることに、「本当にできるのか」という不安な気持ちもあるようだったが、「やってみよう」という声が多かった。 ・今までの学習を生かすことや、さらに調べることで、群馬の特色やよさについて再認識することができた。 ・英語で説明することに、難しさを感じたようであったが、群馬の魅力英語で表現できることに喜びを感じていた。 ・海外の相手校が決定し、パートナーの暮らす地域について興味をもって調べることができた。 	総合 国語 英語 社会
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で自己紹介カードを作成した。 ・スカイプによる1回目の交流を行った。 ・1対1で自己紹介を行った。また、相手校は、グループごとに学校紹介をしてくれた。 ・嘉義の特色やよさについて調べ、カードにまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとの1対1でのやりとりがあったため、緊張している様子だった。自己紹介を終え、海外の子どもたちを身近な存在に感じたようであった。 ・相手校の学校紹介を聞いて、台湾の学校に興味をもった様子であった。 	英語 総合
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプによる2回目の交流を行った。 ・お互いの地域の紹介をした。また、事前にフォーラムに掲載した内容を基に代表児童が質疑・応答を行った。 ・群馬と嘉義の特色やよさを比べて、分かったことや気付いたことを共有した。 ・絵を描く会で、群馬の特色やよさを絵画として表現した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の交流ということもあり、落ち着いた様子だった。 ・群馬の魅力について、グループごとに一人ずつ写真やイラストを見せながら、目を輝かせながら紹介を行っていた。 ・群馬と嘉義について比べることで、共通点や相違点、歴史的なつながりについて気付くことができた。 	総合 社会 図工

融合 想いを 形に ・メッセ ージ ・壁画 デザイ ン	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習を終えて、共有したことを基に世界に訴えるメッセージを作成した。 ・メッセージを基に壁画のデザインを考案し、制作を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果をふり返り、メッセージを作成することは、難しいようであったが、グループごとに意見を出し合い、まとめることで、この協働学習の意義や価値に気付くことができた。 ・お互いの暮らしている地域のたからものを大切にしていきたいといった思いをもつことができた。 	総合 図工
創造 壁画 制作	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が彩色しながら壁画を制作した。 ・今までの英語学習の成果を生かし、パートナーに手紙を書いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描く会で制作した絵画の要素が多数入っているため、興味をもって取り組むことができた。 ・全員が彩色することで、一人一人の思いを込めることができた。 	図工 英語
評価 振り返り 自己 評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した壁画を鑑賞した。 ・1年間の学習をふり返った。 ・社会科の単元「世界の未来と日本の役割」の学習と関連させ、まとめを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーの英語力の高さや挿絵の上手さに驚きがあった。 ・壁画に描かれている内容や全体の構図、彩色方法の相違点や類似点に気付くことができた。特に、文化や伝統の違いを実感したようであった。 	図工 社会 総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とでもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	群馬の特色やよさを相手に伝えたり、嘉義と群馬を比べたりすることで、改めて群馬の魅力を実感することができた。
異文化を理解する力	5	嘉義のたからものを探すという設定で事前に調べ学習を行うことで、興味をもって活動に取り組んでいた。調べて分からないことをフォーラムに掲載し、スカイプを通して、その答えを質疑・応答し合うことで、嘉義の特色やよさを理解することができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	本やインターネットの活用、取材など、それぞれの特徴を生かして情報を収集することができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	伝えたい相手の存在やスカイプ、手紙でのやり取りが効果的であった。「群馬を紹介したい」「嘉義についてもっと知りたい」「学習を通して学んだことを共有したい」など、あふれる子どもたちの想いを言葉や絵で表現することができた。伝えるための手段としての英語や中国語への関心も高まった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	5	それぞれの地域の特色やよさを発表し合い、比べることで、相違点や類似点について考えることができた。自分たちが暮らす群馬について見つめ直し、よさを再認識することができた。
主体的に考え行動する力	5	群馬の特色やよさを伝えるためにグループで役割分担をすることで、協力して発表することができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	「群馬の特色やよさを相手に伝えたい」「相手の暮らしている地域について知りたい」「学習して学んだことを共有したい」という想いが学習を追求する意欲につながった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	群馬の特色やよさを相手にどのように伝えるかを考えることができた。言葉では、日本語や英語で分かりやすく伝える方法を、絵画では、壁画の全体の構成や要素を考えることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	図工と関連させ、壁画の鑑賞を行った。壁画に込められたメッセージ「地域の宝物を、世界の仲間と共に守り、未来に残そう」をもう一度振り返り、お互いの壁画の構成や彩色の仕方などを比較した。また、今までの学習を振り返り、お互いの国の文化や伝統の相違点や類似点について、もう一度考えることができた。